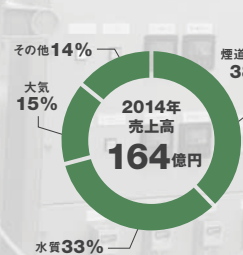
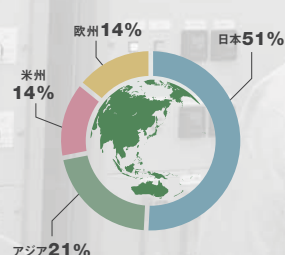


# Process & Environmental 環境・プロセスシステム機器部門

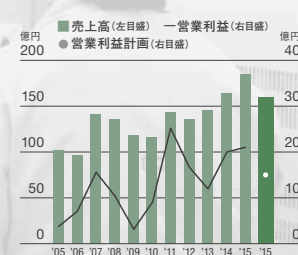
売上高 事業別内訳



売上高 地域別内訳



売上高／営業利益



## 地球環境保全と新エネルギー産業の発展を支える

世界的に高まる環境負荷低減とプロセス監視の要求の中で、様々な産業の発展を支えています。電力、鉄鋼、化学、石油精製プラントなどエネルギー、重化学工業でのガス計測や工場排水監視に、また医療用水、半導体産業での純水管理や水道水・食品・化粧品分野の各種水質の常時監視・制御において、重要な役割を担っています。2011年の東日本大震災後に需要が拡大した環境放射線測定においても、HORIBAの高い計測技術は安心を提供し、社会に貢献しています。

## 2014年実績と2015年予想 アジアでの煙道排ガス分析装置需要は堅調 国内水質関連市場での販売拡大をめざす

2014年は、日本や中国において火力発電所や工場向けなどで、煙道排ガス分析装置の販売が増加したほか、欧州でもポータブルガス分析計の販売が増加しました。また、2014年に発売した工業用水質計の国内での販売増加や、中国や韓国をはじめとしたアジアでの工業用水質計の販売が堅調に推移したことなどから、前年同期と比べ増収増益となりました。

2015年は、前年に引き続き、煙道排ガス分析装置の各地域での



煙道排ガス分析装置

工場などのばい煙発生施設の排ガス連続監視装置は国内トップシェア。多種多様なガスを連続測定するために不可欠なサンプリングシステムの応用設計力で幅広い信頼を得ています。電力、石油化学、鉄鋼、製紙、食品、医薬品など、様々な産業で活躍しています。



大気汚染監視分析装置

ppb<sup>\*</sup>レベルでの長期安定性と精度に優れた信頼性の高い分析装置として、高い評価を得ています。自治体や各企業による大気監視計測を目的として、世界50カ国以上で導入されており、PM2.5関連の監視目的でも需要が拡大しています。

<sup>\*</sup>ppb: parts per billion。10億分のいくらかであるという割合を示す数値。主に濃度を表す際に使用される。



水質計測装置

水質の基本指標であるpHをはじめ、水質汚濁を監視するCOD（化学的酸素要求量）・全りん・全窒素測定装置など幅広いラインアップで水処理プロセスなどの水質計測に対応します。電力、ガス、石油化学、鉄鋼、製紙、食品、医薬品など様々な産業の水質計測分野で高い評価を得ています。

## 主要製品と市場シェア

### 煙道排ガス分析装置

火力発電所やゴミ焼却場などでの煙道排ガスに含まれるNOx、SO<sub>2</sub>、CO、CO<sub>2</sub>、O<sub>2</sub>などを高精度・高精度に測定する装置です。1台でこれら多成分を同時に連続測定でき、国内でトップクラスの市場シェアを獲得し、グローバル市場でも販売拡大に注力しています。



### 工業用水質計「H-1シリーズ」

半導体や食品工場などで使う純水から、上下水道や工場排水の処理まで、広範囲に測定できる工業用の水質計です。排水を浄化する工程での進捗確認や水処理装置の制御に活用されており、化学溶液中でも傷みにくいpH電極を開発し、電極交換などのメンテナンス頻度を減らす「タフさ」を強化しました。上下水道分野での水質管理やプロセス監視における遠隔監視サービスにも対応し、グローバル市場での販売拡大をめざします。



注:各製品の市場シェアは当社推定値

需要が堅調と予想しています。また、アジアでの大気汚染監視分析装置の需要拡大にも引き続き注目しています。北米で展開しているプロセス計測設備ビジネスについては、シェールガス産業の動向と石油化学メーカーの設備投資動向を注視しています。国内では、官公庁や民間企業向け工業用水質計の販売拡大をめざします。

## 環境規制ビジネスでグローバルNo.1をめざす

1,500億円とも言われる世界の環境分析装置市場において、これまで日本・欧州・米州において培ってきたノウハウと経験を活かし、

ビジネスの拡大を図ります。また、HORIBAの創業事業であるpH計測技術を軸に、上下水道や工場の排水監視、湖や河川などの環境域での水質計測や監視分野にて、さらなる市場シェア拡大をめざします。煙道排ガス分析装置や水質計測装置、大気汚染監視分析装置など、今後急速に拡大が見込まれるアジアなど新興諸国での環境分析装置市場において、HORIBAの特徴を活かした事業展開を進めます。さらには、2013年に買収したプロセス計測設備ビジネスを足がかりに、様々な産業におけるプロセス計測分野での事業拡大を狙います。

## 発電所での分析イメージ

### 煙道排ガス分析装置の需要拡大

先進国では、排ガスに関する規制が強まり、脱硝、脱硫などの設備を導入し、排出ガスの低濃度化が進んでおり、HORIBAは低濃度でも分析できる装置の供給や、各プロセス監視に必要な計測機器を供給しています。

新興国でも、環境汚染の拡がりにより、先進国と同様の規制が展開されつつあります。HORIBAは日本の環境改善で培った技術をもとに、グローバル市場に展開を図っています。

### 火力発電所での煙道排ガス分析装置の採用事例

